

Sun. Kobayashi
Casa 2-2
28-Agosto-1 29

聖め新報

太陽の黒點と

まんぢよな

八月も本に入つて今、神州、
夏雲の片端も未だ、
地上は已に相等の暑さを起し、
例年の雨期に入れるに利はら
ず、昨年のトツカ時の如く雨は降り
ない。

各所の天文台の報によれば太陽
の黒點が本年は殊に大きく出現し
て居り、其に原因して北米の今夏
は、北美史上未有の悲しい醒
である。因て減収や自殺者が
夥しい数。

つたと傳わられて居る。

聖州の天地、或は昨年、上に本
年もセツカ、メドニヤを演する
んかろうか。

地獄とか酷暑嚴寒とか天災來い
徵を機敏に感知するものは、自
然に生活苦に追はれて居る人間よ
り來一層、體験をすると云ふ
組合し變調を起す、唯ならぬ者
人間が意し狼狽し出す所に著
將に酷く居る時である。

過去於て五人間は幾度「たそ
うか。」を見せけられたであら
うか。魏健來

今年夏期は、
農家人間一般の食糧生産者の唯一
機関である、四六時中植物界
が酷暑暑熱作用され、發育變調する様
を感し易い位直、居るもの、
充分細心の注意を要する。

D. ALFIO D SANTO
Avenida Barão
フリード
サント
最新治療

臨床 王術 產科
サンクルザ医師

アリビオ

ドス

オ

ド

リ

リ

ド

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

リ

VEJUTOS AR OREDDOS

Uma viagem é o mais que sufficiente para que o viajor observe com relaçao a Noroeste, os adiante desenvolvidos nos últimos períodos. A partir de dois terços dos rios é excessivamente oito ou até as plataformas de agricultores de todos os tamanhos, muitos desmorfados e de physionomia de pouca lucidez, viajando, cousa que é mais raro nas demais Estradas.

Entre os lavradores destaca-se claramente, não entre os que possuem gradação global, mediocres; principalmente nas circunvisinhanças de Peleira, Lins, romissão, Biriguy, Araçatuba e Lussanvira, a colonia nipponica resalta, entre outras encruzilhadas produtivas, não somente com referência as ladeiras acima, mas sim, como em todas as demais. Formando em vilas e casas de quilômetros ao interior das Estradas de Ferro, a os exercitados e ocupados, e se cada um com o nome entusiastico de nipponos, o "Gakko", em que seus filhos devem aí, solvendo os primeiros raios de luz durante de sua nova e alegria Patria, — de sentimento e coração pululante de veneração à Patria, além de vibrarem nas veias o sangue nipponico. — Por tendencia natural, tem dois pontos de que são dignos de apoio e consideração como bons imigrantes; o primeiro é de terem profundo amor e dedicação a lavoura o segundo

é que elas não limitam esforço para darem instrução a seus filhos, que, em épocas futuras hão de ser admirados brasileiros.

Muitos de altas e baixas classes fazem críticas, que não passa senão de uma suposição de asiadamente prematura, aceitando-se que os nipponicos encaminham para seu país natal tudo quanto extrae desse solo; no entanto, isso não passa de umas idéias largadas com má intuição, por interesses individuais, se não infundadas, por que, esses ditos não se verifica em realidade. O maior contentamento desses e outros são, antes de mais nada, o de possuirem suas geras para o vodone.

ou no proximo numero

X光線

X光線應用

X光線應用検査

X光線應用治療

紫外光線治療

BACk燈治療

腫物 妊管神經痛

傷腫 濕痒 脾

骨膜結核 ガン疾患

DR. J. BRAULIOFERRAZ.

パウリーニ市

アベニーダ・ロドリゲス

アルベス，三八

間時察診

まで時十時よ時九時前半

まで時五時よ時三時後半

瀬木商店

聖木商店

Semanario de S. Paulo

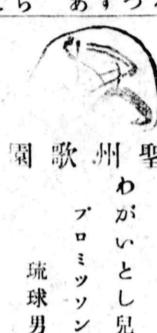
3.

近時兒童教育に關してイロ／＼の心配を發表される、洵にはや結構な事である。嘗め政府の許す済みになつてゐる小學校が三十あるそだ。一校約三十人の兒童を收容すると三々が九百餘人になる勘定だ。世間の心配人はタツタ九百か千の現就學兒童を基調としてイロイロの心配をして御座る様見る。假りに同胞四万、十人に一人づつ就學す可き兒童を有してるとすると八千人の就學すべき兒童がある勘定になる。それがハテどうなつてゐるだらう。部室がサイド眼鏡でもかけて教育状態見落などと立派な名目で出張費貰れ、田舎へゴ出張の際は復命書や報費材料課めるに不便だなどと賣上と回遊せず小學校所在地などは後廻しにして先づ不便な田舎や奥地の農家を戸別ホー問してオバサン達に訊ねて見るが早道だ。

すゞノミはキットこう答へるだらう。俺寧のガキ等はカロセイロの眞似やノヽヽなどと毛唐の咀始末にねぬはせんパイと云ふだらう……そならオデサンが各日曜又は朝晩・時間位づら坊ちやん方に讀本でも教ひてね遣りと獎めてごらり。オデサン肩をゆすべからず、ドウモ誠濟まない事と思と來るだらう。これが亦裸々たる各農業地帶の現實であり實際である。多數はケブクロの小供と同様に無

智無學に同化して成育して行くのだ。是を單に父兄の里として放任するか出稼人の小兒はそれで好いとするさ、スマイルスのように自分事は自分自身で處理せよと云ふか。そのなら何も利口に心配そくに天下に發表せぬがよいではないか。

(未完)



聖州 わがいとし兒
歌 ブロミツソン
琉球男

聖州 わがいとし兒
歌 ブロミツソン
琉球男

聖州 わがいとし兒
歌 ブロミツソン
琉球男

記書類をパウル市で入用の時は
公園の廣場、(アントニオ、アルベ
ス街)の

旅館 旅館 澤尾尾

前 駅 員 磯 尾 尾

旅館 旅館 澤

聖市、コンサ、デサルゼダス街、五〇
電話セントラール四五五九

館主 中山忠太郎

町営 深切を旨とし
凡て御客様本位に大勉強仕ります

ヘローバ、セードロ買入度し
委細は本店宛問合せ下さい

旅館 旅館 澤

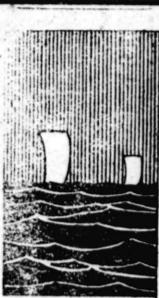
材木商

か 一 ザ

和洋御料理一切

杉本芳之助

和洋御料理一切



祖
國
便
り

●野越え、山越え、海えて
東京放送局では遞信省の許可
第一よ／芝要容山上、新装なれ
る敷地二四、坪鐵筋コンクリート
二階建の美しい新放送局で、十二
日から本放送を開始することにな
ったが、北村技師考案の日本製放
送機とウェスター放送機二台で、
一キロワットの電力のもとに放送
するから、今後は北京や上海に在
する邦人も美しい故国のメロディ
に心を惹かれて、胸を慰められる事にな
つた。

○共産黨事件

論告と求刑

首魁以下に禁錮一年
判の日本共産黨事件の主魁堀利
山川均、荒畠寒村、外二十五名に
かゝる治安警察法違反事件の
續行公判は三十日東京地方裁判所
刑事字第1号で開廷事實調
べに移った。
傍聴席には相變らず主犯者の物
凄い顔がスラリとならび、堀真柄
娘が子供をつれてゐるのが何より
人目を引いた。

午後〇時卅分石田檢事は「被告
各の行為は治安警察法に該當し
國内心の最も戦慄すべき行為であ
る」と痛烈なる論告をなし、
廿分左の如く求刑した。

禁錮一年
堀利彦、高津正道、浦田武夫、上
田義樹、橋浦時雄、吉川守邦、中
曾根源和、小岩井淨、荒畠寒村、中
山川均

禁錮十箇月
近藤榮藏、佐野學、田所照明、市
川正一、杉浦啓一、高瀬清、野坂
三二、西稚夫、荒井邦之助、田代
常治、渡邊政之助、イノマタ津奈
雄、辻井民之助、市川義雄、川内
雄、高理武治、山本懸

●節儉貯蓄の標本
岩手縣江刺郡玉里村及川駒治は
平素勤儉質素し暮しさまで富裕と
思想はなかつたが、この程死亡
したのセガレが金庫を改めた處
詰らすと現金公債とりませて二十
五萬圓が貯蓄してあるのに吃驚仰
天し今更ながら亡父の勤儉に感嘆

岩手縣江刺郡玉里村及川駒治は
死にきれず三日を経た廿六日朝大
阪戻りとの觸れ込みで、徳島市仲
通り江本旅館に車で乗込んだが、
死に苦り始めて運命した。一度
はらくするうちに飲だ毒がま
はり苦り始めて運命した。

でもよいから抱いて下さいやね
（妻の名）よりの戀慕せるため
とあつた死体は馬太が引取つた
遺書に「冷たい私の體なれど一度
も思はれなかつたが、この程死亡
したのセガレが金庫を改めた處
詰らすと現金公債とりませて二十
五萬圓が貯蓄してあるのに吃驚仰
天し今更ながら亡父の勤儉に感嘆

佐世保の不良團
万引、窃盜、婦女誘拐

佐世保者では數日來ヒ密裡に不
良少年を引致取調中、縣立佐世保
中學生及び夜間中學生を中心とす
る不良團が數ヶ月に亘り市内各商
店より數千圓の万引窃盜を働いて
ゐた事が發覺した。

被等、墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

佐世保者では數日來ヒ密裡に不
良少年を引致取調中、縣立佐世保
中學生及び夜間中學生を中心とす
る不良團が數ヶ月に亘り市内各商
店より數千圓の万引窃盜を働いて
ゐた事が發覺した。

被等、墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛込んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の妻利田よしひ
（四八）とい、ヤキモチかられ
前の方を引つ切つてやる」と、よ
うに馬乗りとなり、有り合せた
鋸で首を引き始めるものと判り、
よしむは死となく抵抗しなが
かなりの重傷を負うてゐた。

彼等墮落全く想像もつかない
一位で互に連絡を取つて市内商業
店を荒ら廻り、遊里に足を入れ、
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
巡回中の官署が飛んで見る
と、一人の女が血に染まつて苦し
んでゐる傍らに、一人の男が血築
めの鋸を持つて突つ立つて居るの
で取調べて見ると男は安吉（五二）
女は同人の内縁の

▲上塚氏出聖
廿五日リヌス驛より上塚周平翁
來芭、同夜バウリスタ線より出聖
要件は來聖中の田付大使一行歡迎
旁々他にも重要ありと

▲ 佐田ドツトル出聖
廿五日リヌス驛より來芭、上塚
翁と同伴出聖、田付大使一行の栗
津ヒ書と會合の爲め

▲上塚氏出
耶

▲邦人の大工さん
自働車に轢かる

▲男の意氣地より
びすとる自殺

▲又新植民四ヶ家族 入殖

去廿三日正午頃當市内、自働車運搬業伊太利人、フランシスコ・カバナは情婦の家にて耳膜を貫てビストル自殺を遂げた。原因は本社が探聞する處に依れば、女が他の男と一緒に自働車遊散をしてゐるのを見て、シッ姉の炎に燃え立ち女の家に詣問した與句、小心な男は「奄は死」と

▲馬車馬荒れ出し

云ひ出したら、女も「死ぬるなら死んで見よ」との買言葉。女が水を飲み行つてゐる間にホントに自殺をしなそうな。女が筒音に驚いて部屋に歸つて目ると、血染だ男の凄惨なる形相に腰をぬかしたとか、執拗な男の魂は何時迄も其孕氣女に「さ

▲プロミツソン驛
町の八八
カンボグランデでならした八八
の名人親分一八君が先頃プロミツ
ソンにきて、場を張って居るので
リス驛からも其道の好きな邦人
及外人二十名から四五台の自動車
で毎夜通ひの由 寺錢毎晩二コ
ントとか。

▲一邦人の慘死
去廿三日リンス驛の塩山孫三郎は友人の歸國を見送つて出事中、自働車を驅りてブラス驛附近の並木踏切を横切らゝとす時、幸に開閉機の端に胸を壓せられ五分間の後悲惨な最後をとげた。因に同乗の友が何にか云ひ遣る車

▲雨は愈降らぬか
　昨年の八月末も既にセツカ状態に陥つてゐた。本年も雨は愈雨期に入つても降らぬだらうか。
　マンガやラノベの花が各樹々に一度咲き出した。
　大体一度に二匹より産ませぬ白兎が六匹も兎を産んだ。
　蔭の方にある普通枯れんでものの籠芝が古れて、陽處にある部分の芝が生き生きとしてゐる。
　まだ愈々と妙な現象があらわてくるだらう。農家の作物上大いに注意を要する事だ。

はないと、と問ひたれど只の一言も發する事が出來なかつた。先頃矢張り自働車で慘死したリオの鐘紡放満留學生と較べて、ほんとに同情してやまない

北西線りんえ驛 鄭函百二十六番
自働車は御通知し第
直に驛參上致ます。
ボテキノ
ノロエス泰線
ブロミツソン
ボンスセソ
伊藤元登
自 働 車 倉 月 同 事 會

ルテオ
スド
すてんやじあび

THE YOKOHAMA SPECIE BANK
RUA DA CANDEIA, 38C
CAIXA, 38C
RIO DE JANEIRO

預金 伯貨當座 日本貨定期
預送金用紙帳は御用意
預金點は御用意
有之候
リオ、デ、ジ
横濱

期預金利息六ヶ月 以上年六分
預金 (小口) 一六ヶ月以上年四分五厘
壹ヶ年以上年五分
年四分

申上に小審

御宿 大福 設備完全 聖
本店にて販賣會社扱ひ
り致します。

市 郵便局
市スノリ
高橋善之助
長谷川中智誠
田中末記
六八二七一四

良向の週市は内閣
買賣仲販物貨穀雜
吉商桑田
シイヒンコラビ
一函郵
コゴルコ地民殖キグリビ
地街市新
米田桑

綿 消 費 格 種 類

毒検査ね

